

# 平成28年度

## 民家野外博物館「川崎市立日本民家園」 目標と評価シート

### ■日本民家園の使命

日本民家園は、市民の文化・学術・教育の向上に寄与するため、つぎのを行います

1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます
2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います
3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します
4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします

※本文各項の「対象使命」欄で太字になっているものが、業務に該当する使命。

※分担欄の「市」は川崎市、「指」は指定管理者の事業。「市・指」は共同で行うことを示す。

### ■外部評価の目的

(2009.3日本民家園協議会資料より抜粋)

1. 日本民家園の使命を果たすために、園の充実発展に繋がる改善案を探す
2. 園の独りよがりな運営にならないよう、外部の方(利用者・有識者など)の客観的・率直・公平・多様な意見を聞く
3. 評価項目(年度当初案と結果)を公表することにより、広く日本民家園の業務を周知するとともに、実行性を高める
4. 評価を毎年継続実施する中で、前年度の評価や改善点を次年度以降に繋げる
5. 1～4を通じ、職員・協力者(市民)・関係業者のモチベーションを上げる

※評価欄は

上段が28年度目標に対する評価。

下段が3年目標に対する評価。

### ■評価

つぎの3段階とする。

A: 目標を充分達成し成果を上げている

B: 目標を概ね達成している

C: 目標を達成しておらず改善が必要である

### ■添付資料

各種統計

1. 古民家保存修理工事事業計画
2. 民俗部門基本計画
3. 民俗部門展示出版計画
4. 民家園叢書出版計画
5. 大岡文庫関係出版計画
6. 総合防災整備事業計画
7. 事業実績
8. 評価者

### ■目次

#### 1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

- (1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進
- (2) 展示及び教育普及活動の充実

【収集・保存・整理】【調査研究】【情報発信】

【展示】【教育普及】

#### 2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

- (1) ミュージアム・マネジメントの確立
- (2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致
- (3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

【総務】

【情報発信】

【管理】

## 1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

### (1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進

<b>対象使命</b>	<p>1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。</p> <p>2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。</p>	<p>3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。</p> <p>4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。</p>
-------------	--	--

現状： 東日本における江戸時代の古民家を中心に移築復原した。長期計画を立て、緊急度の高いものから補修工事を実施している(資料1)。日常的な維持管理としては、燻煙と清掃、巡回警備を実施している。民俗資料については整理を継続的に進めて目録を刊行(資料2、3)、建築関連資料についても大岡實博士文庫の整理を進め、目録や民家園叢書の刊行を行っている(資料4、5)。また、総合防災施設設備事業・耐震事業(資料6)も進行中である。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分組	H28年度計画	H28年度事業実績	指標	今後の課題
①文化財建造物維持管理の推進	屋根補修、その他補修工事実施。保存修理における伝統技術継承。燻煙と清掃の定期的実施。文化財建造物及び園内環境を良好な状況で維持するため、専門的業務内容を複数名で検証、遂行できる体制の確立。	市・指	三澤家屋根葺替(29年度完成)、その他古民家・施設小破修繕。岩澤家葺替え工事予算確保。燻煙・清掃継続実施。文化財建造物及び園内環境を良好な状況で維持するため、専門的業務内容について外部有識者の助言を得る。	三澤家屋根葺替実施中(29年度完成予定)。その他古民家・施設小破修繕実施。岩澤家葺替え工事予算確保。燻煙・清掃継続実施。	計画に対する達成度	文化財建造物主任技術者退職に伴う技術・知識等の継承
②収蔵資料整理の推進	26年度に各民家寄贈資料の整理完了。川崎市域の資料に着手。収蔵環境の改善。耐震性の低い民家での屋根裏収納一部解消。大岡資料整理実施。	市	耐震工事に伴う民具の仮収蔵スペースの確保及び必要経費予算確保。大岡資料整理。	民具収蔵のための学校空き教室活用に向けた検討。山下家屋根裏資料整理継続。大岡資料整理実施。	計画に対する達成度	民具収蔵のための学校空き教室確保
③総合防災事業の推進	消火設備・自火報・ITV・炎感知器の新システム稼働。耐震診断・補強設計・補強工事の実施。	市	三澤家耐震補強工事(29年度完成)。旧消火設備配管の撤去工事実施。新防災システムの保守管理。太田家耐震補強基本設計の予算確保。	三澤家耐震補強工事实施中(29年度完成予定)。旧消火設備配管の撤去工事実施。新防災システムの保守管理実施。太田家耐震補強基本設計予算確保。	計画に対する達成度	文化財建造物主任技術者退職に伴う技術・知識等の継承
④調査・収集・研究の推進	エリア・内容を広げた旧所在地調査と、市域の暮らし調査着手。大岡資料調査実施。博物館団体・研究者等との交流推進。(註1)	市	7月開催の企画展、50周年記念企画展に伴う資料調査。「くらしと家」調査開始。大岡資料調査実施。文化財集落施設協議会例会参加。	7月企画展に伴う園内収蔵資料調査。50周年特別展に伴う書庫資料、大岡文庫等調査。石橋醤油店聞き取り調査実施。文化財集落施設協議会例会出席。	計画に対する達成度	調査研究活動の継続。
⑤学芸活動の成果公表	27年度に古民家資料目録完結。28年度以降、民俗調査報告書刊行。大岡資料目録・民家園叢書の編集・刊行。	市	「くらしと家」調査報告、古民具展図録、『叢書民家は何の木でできているか2』刊行。50周年記念古民家写真集印刷。	調査報告『中原街道の醤油屋』、「ふしぎ古民具大集合!」展図録、「日本民家園“今昔”ものがたり」だより、民家園叢書『合掌造りはいつ建てられたか』、写真集『家home』刊行。	計画に対する達成度	図録、報告書の継続的刊行。報道発表等の工夫。

<b>外部評価 評定意見</b>	<p>年度計画に対しては十分に達成して成果を上げ、中期目標も概ね達成している。文化財建造物の保存修理工事等は計画通り実施され、事業予算確保も実現できている。今後の課題として従来見られなかった外来種のキノコによる建造物の損傷事象については、原因究明と慎重な経過観察を行うとともに、各棟の損傷状況の変化等にも注意して、長期的な視点で建造物の保存修理工事事業計画に必要な見直しを図ること。専門職員の交代に伴い、文化財及びその維持管理についての専門的知識・技術、工事設計監理上の課題等について、遺漏なく伝承・引継ぎを実施すること。調査研究活動は着実に実施されており、刊行物の発行等の成果公表については計画以上のものが実施できた点は高く評価される。一方で資料の整理保管に関しては、目標に掲げながら実施できなかった事業があることから、計画的に実施するようにすること。特に資料の仮収蔵先確保と移動については早急な解決を図ること。文化財保存修理工事は、文化財保存の意義を周知する好機でもあることから、工事中だけでなく工事後の一定期間、修理の理由や内容、施工箇所について来園者に知らせる工夫をすることが望ましい。</p>	A ＼ B
----------------------	---	-------------

註1

長期目標として「民家園が民家保存継承に関するソフト・ハードの情報拠点として情報発信が可能となるよう、野外博物館団体・建築技能者・研究者・行政機関・民家所有者・民家愛好家などの支援・協力を得て情報拠点としてのネットワーク形成に寄与する」ことが挙げられる。

## (2) 展示及び教育普及活動の充実

<b>対象使命</b>	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状：古民家を野外展示するとともに、民家の構造や暮らしについては常設展示室で紹介している(資料2、3)。古民家内では各地域の民具のほか、年中行事の展示を行っている。このほか、民家の補修工事や囲炉裏の火焚きなども展示の一環としてとらえ、作業風景が見られるよう工夫している。普及活動としては、学習講座・体験講座・昔話等を実施しているほか(資料7、8)、学芸員実習や小学校の体験学習の受入も行っている。炉端の会、民具製作技術保存会は民家園の教育普及活動を支え、協力者会議を開催して事業運営の改善を進めている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H28年度計画	H28年度事業実績	指標	今後の課題
①建造物等資料の公開展示の仕方の工夫	川崎市域の資料を活用し、さわれる展示コーナー設置。古民家内展示整備(生活展示)。各棟解説板を全棟に整備。	市	民家展示の一環として三澤家耐震補強工事見学会開催。スタンプハウスリニューアル予算確保。音声ガイド導入準備。さわれる展示常設化。企画展示室整備に伴う古民家内展示整備。	三澤家耐震工事説明板作成。音声ガイドアプリ完成。古民家内展示整備に伴う解説パネル原稿作成、翻訳。	計画に対する達成度	三澤家耐震補強工事見学会開催。企画展示室整備に伴う古民家内展示整備。スタンプラリーリニューアル。
②企画展示の充実	26年度に各古民家をテーマとした展示完了。引き続き民家園の特性を活かしたテーマ展示開催。企画展示室再整備。	市	企画展示「ふしぎ古民具大集合！ー不思議な形には理由(ワケ)があるー」開催。50周年記念企画準備。企画展示室整備工事。	企画展「ふしぎ古民具大集合！」開催。50周年記念特別展準備。企画展示室整備完了。	企画展示室入室者数	企画展示の長期計画策定。
③各種講座の充実	企画展示に合わせた講座開催。建築の見方に関する講座開催。建築に関する体験講座検討。	市	こども建築入門、各種体験講座、叢書刊行連動民家園講座、古民具展関連子供向けワークショップ、昔の道具体験開催。体験講座の定員増。	夏休みこども建築入門、各種体験講座開催、企画展子供向けワークショップ、解説会、昔の道具体験(運搬具・茶摘・灯り)、講座「合掌造りはいつ建てられたか」開催。糸紡ぎ講座定員枠4名増。	受講者アンケート満足度(註2)受講者数	子供向け、親子向け企画の充実。
④建物解説・ガイド・図書コーナーの充実	ガイド担当者のスキルアップ。原家図書コーナー充実。	市	古民家めぐり月2回(建築・暮らし)開催。園内ガイド・団体ガイド・英語ガイド継続実施。	古民家めぐり月2回(建築・暮らし)、園内ガイド・団体ガイド・英語ガイド実施。図書コーナー改善。	解説・ガイド参加者数(註3)	少人数団体に向けた音声ガイドの案内。
⑤催し物の充実	民家の魅力を引き出す催し物開催。旧所在地交流事業等実施。指定管理者の自主事業との連携。	市・指	親子向け、若い世代向け事業の強化。旧所在地交流事業(南砺市・甲州市・福島市)実施。お茶会・芸能公演・民具製作実演・昔遊び・昔話・年中行事・夜間公開・月見ナイトハイク等、指定管理者自主事業(古民家カフェ、ベーゴマ大会)継続。市と指定管理者合同企画(草花遊び)実施。自由参加型の体験事業新設。	新規事業(七夕、お月見夜間公開、点数制お正月あそび)、旧所在地交流事業(南砺市・甲州市・福島市)、お茶会、芸能公演(人形浄瑠璃、農村歌舞伎)、民具製作実演、昔遊び、昔話、年中行事展示、夜間公開等の実施。指定管理者自主事業(古民家カフェ、ベーゴマ大会、暮らしの知恵講座、立版古ワークショップ、芸者に学ぶ粋な遊び方講座)、市と指定管理者合同企画(草花遊び)実施。	参加者数(註4)入園者数	行事開催時の安全確保、従事人員確保。

⑥伝統工芸館の充実活性化	民間発想を活かしたサービスの向上と知名度アップ。	市・指	藍染体験記録映像制作案作成。染色技術向上のための研修実施。	藍だて記録映像制作。講習会参加。八王子市立小学校出張藍染め講座講師派遣。	体験者数	研修体制の確立。
⑦学校との連携の強化	小学校の体験学習・社会科見学、中・高・大学の利用、教職員向け研修の利用促進。	市	体験学習、社会科見学、博物館実習受入。ワークブックの改訂。	体験学習、社会科見学、博物館実習受入。専修大インターンシップ・民技会との連携によるぐらっとガイドツアー実施。学校用教材として「こども民家園検定ワークシート」をWEBサイトにアップロード。専修大学留学生モニター招待。市立小学校郷土資料室展示替え援助。	見学校数、体験実施校数	川崎市近隣の小学校や私立学校、中・高・大学への広報による利用増。
⑧市民協働による事業の展開と民家園改善の推進	民技会活動支援。催し物に伴う市民団体との連携強化。協力者会議、協議会の開催による運営の改善推進。	市・指	民技会・市民団体(昔話等)への活動支援。民家園部会、協力者会議開催。民技会、炉端の会との連携による50周年事業の推進、自主事業ワークショップ開催や物販の充実。	民技会活動支援。民家園部会、協力者会議開催。50周年事業に向けて、炉端の会から記念行事の際の床上公開棟増などへの協力を得た。炉端の会会員講師による暮らしの知恵講座開催。	計画に対する達成度	協力者会議のあり方検討。
⑨ボランティア団体の活動支援と育成	研修機会の提供。諸活動の支援。自主性・多様性を持った活動の促進。	市	自主的活動の支援。学習会、ボランティア講座の継続開催。	炉端の会の自主活動を支援。毎月の例会時に学習会を開催。新会員募集のためのボランティア講座を開催。	床上公開棟数・利用者数、炉端活動延人数	炉端の会の要望に対応した学習会等の実施。炉端の会会則改訂。
外部評価 評定意見	積極的に事業を実施して、目標を充分達成して成果を上げている。展覧会並びに各種講座及び催し物は、新規事業を含め計画通り実施できており、また、本館展示室の改修や音声ガイドの導入の準備を進め、実現の目途が立った点は大いに評価される。古民家における伝統的な暮らしを理解するためには、生活道具の使用等の体験型の展示が有効と考えられる。レプリカ・模型の製作や類似の什器の調達、解説パネルの設置等を通して、来園者に民具や伝統的な暮らしに触れる機会を増やすことを期待したい。企画展示の場だけでなく、床上公開等と組み合わせるなど、安全面に配慮して民家での体験展示の実施方法を検討すべきである。学校との連携は、小学校や近隣大学に向けた働きかけを中心に進められたが、中等教育段階の学校や、市立・市域にとらわれない、より広範囲な学校に情報提供を行うなどして、諸学校の教育に役立て、民家園への来園につなげるような工夫を期待したい。民家園とボランティア団体や協働する市民団体とは良好な関係を維持し、相互に有益な活動を展開している点は評価できる。各団体同士の横の連携や、活動の質をより向上させるような仕組みの在り方について、検討することが望まれる。					A / A

- 註2 ①民家園講座「講座の内容はどうか?」の質問で、「非常に良かった」「良かった」「普通」「あまり良くなかった」の4項目のうち、「非常に良かった」「良かった」と回答した人の割合。(P8統計参照)  
 ②体験講座「参加してどうか?」の質問で、「面白かった」「まあまあ」「つまらなかった」の3項目のうち、「面白かった」と回答した人の割合。(P8統計参照)
- 註3 民家解説・展示解説・園内ガイド・団体ガイド(英語含む)利用者数。(P8統計参照)
- 註4 事業報告(社会教育要覧)の教育普及事業一覧から講座・園内解説・学校体験・床上公開・民家園まつり・多摩区民祭を除いた事業の参加者数。(P8統計参照)

## 2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

### (1) ミュージアム・マネジメントの確立

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
------	---	---

現状: アンケートで来園者ニーズを把握するとともに、事業評価を実施し、運営の見直しを行っている。また、H25年度より指定管理者制度を導入し維持管理(文化財を除く)・広報業務を主に指定管理者が、学芸等業務を市が実施している。危機管理については、防災訓練を実施、危機管理マニュアルを更新している。人的な資質向上をめざして各種研修を実施、年間パスポートの販促等、リピーター確保のため工夫を重ねている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H28年度計画	H28年度事業実績	指標	今後の課題
①来園者ニーズの把握	アンケートの継続実施。実施・公表方法の検討。	市・指	アンケートの実施と実施方法等見直し。「よくある質問」の増補	来園者に意見徴収する形でのアンケートを四半期ごとに実施。「よくある質問」の改訂版作成中。	来園者アンケート満足度(註5)	来園者ニーズを把握するアンケートの実施と公表。
②外部評価の継続と活用	事業評価制度の活用。	市・指	事業評価継続実施と活用。次期中期目標策定。	事業評価継続実施。次期中期目標策定。	計画に対する達成度	事業評価の効果的活用に向けた事業評価シートの見直し。
③効率的な運営	指定管理制度導入にともなう運営管理体制の確立と質的向上。	市・指	次期指定管理仕様書準備。	次期指定管理にむけ仕様書改訂作業実施。	計画に対する達成度	次期指定管理への円滑な移行。指定管理業務内容の見直し。
④危機管理体制の整備	危機管理マニュアルの改良と運用。防災訓練の内容充実と継続的実施。	市・指	危機管理マニュアルの随時更新。防災訓練実施。生田緑地内施設との連携及び危機管理体制の確立。	危機管理マニュアルにテロ対策増補予定。災害訓練年4回実施。	計画に対する達成度	緊急時の迅速・適切な行動につながる日頃の備え・災害時の外国人来園者への対応。
⑤経済的な自立度	入園料など収入確保による安定的運営。(註6)	市・指	目標指標16%。有料入園者拡大のため市外イベント等に広報活動展開。	目標指数14.1%。川崎駅前チネチッタイベント工芸館出店。	歳出に占める歳入の割合(註7)、有料入園者数	広報の強化
⑥組織と職員の資質向上	園内の情報共有化。市専門職の長期確保。各職員の資質向上。(註8)	市・指	文化庁・神奈川県博物館協会等実施の外部研修への積極的参加。市専門職の長期確保に向けた検討。	ミュージアム・エデュケーター研修連絡会協議会開催、6施設参加。次期文化財建造物主任技術者確保。専門職のあり方検討委員会実施。	計画に対する達成度	市専門職員の長期確保。
⑦来園者の確保	入園者数 年間11万人。リピーター(年間パスポート)増。	市・指	目標12万人。年パス利用者5000人。	116,053人。年パス4,024人。	入園者数、ハイスポート売上枚数・入園者数(註9)	園の魅力高めるとともに、広報を強化する。施設規模に見合った適切な来園者数の検討。

外部評価 評定意見	<p>目標・計画については全体的に概ね達成している。入園者数の増加とリピート率の向上に向けた努力を継続すること。来園者アンケートは、結果の信頼度を高めるためにサンプル数を増やす工夫や、不満足意見の内容分析等を行い、来園者ニーズの把握をより効果的なものにすることが望まれる。事業評価の運用及び評価シートの作成にあたり、目標・計画の設定及び実績について定性的な内容と定量的な内容とのバランスを考慮し、可能な項目については適正な数値目標や進捗目標を設定し、実績値を示すようにするなどの工夫も望まれる。文化財の保全及び来園者の安心安全のために、想定される新たなリスクを加味し、危機管理マニュアルの改訂とそれに基づく訓練を継続的に実施すること。また訓練は民家園単独での実施にとどまらず、関係機関や生田緑地内施設と合同で実施し、課題の抽出と改善を図ることが求められる。建築・民俗の専門職員の配置は、民家園の活動を継続的に実施する上での根本的条件であることから、専門職員の継続的配置について十分に配慮した体制の確保に努めること。</p>	B / B
--------------	---	-------------

註5 「全体の印象は？」の質問で、「よかった」「つまらない」「どちらとも言えない」の3項目のうち、「よかった」と回答した人の割合。(P8統計参照)

註6 「民家園の魅力を高める」ことを追求するのが入園者を増やす一番の方法であり、協力者会議・協議会などで議論を重ね実現化を模索している。

註7 H25年度以降⇒歳出＝経常経費の決算額(指定管理料・人件費含む、工事等特殊経費除く)、歳入＝入園料・受講料・物販収入等(国庫補助等除く)  
H24年度まで⇒歳出＝経常経費の決算額(修理工事・総合防災等特殊経費、人件費除く)、歳入＝入園料・受講料・物販収入等(国庫補助等除く)

註8 専門職の配置のあり方の検討が必須である。

註9 入園者数は指標の一つであるが、入園者増だけで良いのではなく、熱心な入園者を評価する指標を検討する。

## (2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致

<b>対象使命</b>	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状： インターネットによる広報、地域団体・企業と連携した広報を展開している。また外国人誘致にも力を入れ、リーフレット・ホームページの多言語化、内容の拡充を進めている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H28年度計画	H28年度事業実績	指標	今後の課題	
①民家園の魅力発信	民活効果による効果的な情報発信。インターネットによる情報発信強化。市内への周知、国内及び海外への発信強化。	市・指	生田緑地博物館等の事業連携。ブランド戦略担当と連携しマスコミによるPRの実施。50周年広報準備。SNS活用による情報発信等。	50周年に向け、小田急線・南武線車内及び駅、市バス車内へのポスター掲出、街路灯フラッグの掲出、4月1日号市政だよりへの特集記事等を準備。南武線車内トレインチャンネルでの動画放送。シティプロモーション推進室との連携による50周年広報会議実施。	HPアクセス数	効果的な広報の推進。SNSのさらなる活用。	
②外国人向け広報とサービスの充実	海外の民家博物館へのリーフレット配布。外国語リーフレットのHPアップ。ドイツ語リーフレット作成。英語ガイド充実。	市・指	タイ語パンフレット作成。園内サイン一部多言語化。フォーリン・プレスセンターを活用した海外への情報発信。多言語音声ガイド導入準備。外国人国別利用実態調査実施。	フォーリン・プレスセンターを活用しウォッチ・ジャパン・なう(HP)に人形浄瑠璃・世界遺産五箇山がやってくる！を掲出、多言語音声ガイド導入をメール配信。タイ語パンフレット刊行。外国人国別調査実施。外国人向けに昔話の英訳シート配布。	外国人入園者数 英語版HPアクセス数	音声ガイドの言語追加検討。	
③優待サービス拡充と周知	年間パスポート利用促進。生田緑地複数館割引、駐車場割引、地元商店街との連携など割引サービスの拡充。	市・指	優待サービスの工夫・充実に向けて、年パスキャンペーン秋期実施。回遊性を高めるための案内を入園証明書に記載。デジタルサイネージ等活用し、各種割引制度の案内表示。	生田緑地他博物館との2館目割引のホームページ等を通じた広報。年パスキャンペーン11月、12月実施。	計画に対する達成度	優待サービスの効果的な広報	
④観光客の積極的誘致	経済局商業観光課・観光協会との連携。民活効果による観光業界へのアプローチ。	市・指	生田緑地全体広報と連携し、観光業界や外国人向けホテルへのアプローチ。ポスター掲出先新規開拓。50周年に向け多摩区役所・地元商店街等との連携強化。記念ポスター等の制作。	川崎駅前ホテルにてPRイベント参加。多摩区役所との連携により広報誌「はなもす」の民家園特集号実現。50周年記念ポスター作成。市観光協会主催の生田緑地観光ツアーの民家園見学の効果的な実施。	計画に対する達成度	市や県の関係部局との一層の連携。新たな提携先の開拓。	
⑤生田緑地の情報発信	民活効果による生田緑地全体の広報活動強化。ビジターセンターでの広報強化。	市・指	若い世代向け広報、3館共通広報案作成。回遊性を高める連携イベント開催。メールマガジン・フェイスブック・ブログ等の活用。自主事業フリーマガジン「もりのにじ」の充実、配布先新規開拓。	市外学校、建築系大学、インターナショナルスクール向けに案内状送付。SNS活用。「もりのにじ」配布先増。	計画に対する達成度	SNSのさらなる活用。	
外部評価 評定意見	広報活動等は積極的に実施して、目標を充分達成して成果を上げている。外国人向けを含めた広報活動や、園内で提供する情報の多言語化、近隣大学や地域関連団体との連携を積極的に推進している点は評価できる。相乗効果を目指した生田緑地内各施設との連携や、民家園の展示内容に関連する外部機関への広報先開拓等にも引き続き努めることが望まれる。近年増加している外国人入園者の情報収集手段や来園動機等の分析等を行うことで、より効果的な広報や園内での対応に結び付くと考えられるので、意見を聴取する手段の検討が望まれる。開園50周年を迎えるのを好機に、今後も積極的に広報を実施し、来園者を積極的に誘致することが期待される。						A \ A

### (3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

<b>対象使命</b>	<b>1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。</b> 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 <b>4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。</b>
-------------	--	--

現状： 来園者サービス施設として、救護室や授乳スペース等を整備し、休憩スペースの確保を進めている。オリジナルグッズの開発・販売や窓口業務改善に努めている。敷地内の環境は展示の一環として整備を進め、民家園に相応しい植栽や案内板の補修・増設、バリアフリー拡充等を行っている。また24時間人的警備により来園者と文化財の安全確保に努めている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H28年度計画	H28年度事業実績	指標	今後の課題	
①来園者サービス施設の維持・整備	快適な施設環境の提供。休憩スペース確保。食事提供施設のサービス向上。	市・指	古民家カフェの継続及び営業日拡大実施、催事特別営業。ベンチのリニューアル。	古民家カフェ7月追加実施。お正月カフェ実施。	計画に対する達成度	ベンチのリニューアル。	
②敷地内環境の整備とバリアフリーの推進	植栽管理水準維持。ボランティアによる清掃・植栽管理の支援。展示通路・案内板・手すり・敷居スロープの整備。	市・指	古民家・年中行事に合わせた植栽の推進。周囲樹木の枝降ろし・伐採・除草等管理の徹底。設備担当、警備連携による不具合箇所の早期対応。	工藤家、清宮家、佐々木家他周辺の樹木伐採、クマ笹刈り実施。スロープ水漏れ凍結防止対策等修繕箇所多数。その他、設備担当、警備連携による不具合箇所の早期対応。	計画に対する達成度	園路の整備。民家周辺高木の枝卸・伐採等植栽管理の確実な実施。雑草刈・落ち葉清掃を遅滞なく実施する。	
③来園者の安全確保と文化財の警備	文化財の破損・盗難・火災防止、来園者安全確保、案内等、質の高い警備の継続実施。	指	月1回の警備・清掃会議における情報共有。休園日訓練の継続実施。来園者増に対応した警備の実施。	警備・清掃会議での情報共有。休園日訓練継続実施。警備員接遇指導随時実施。	計画に対する達成度	外国人への対応訓練。	
④オリジナルグッズの開発と販売促進	魅力的なオリジナルグッズ開発。販売促進のためディスプレイ等改善。	市・指	ミュージアムショップの効果的運営に向けて、民技会・炉端の会作品の継続販売。旧所在地グッズの継続販売等。	50周年記念グッズの開発。添え文箋、記念カレンダー(日本女子大とのコラボ企画)制作発売。民技会・炉端の会作品、旧所在地グッズ継続販売。	計画に対する達成度	商品の継続的開発体制の確保。	
⑤窓口(券売・インフォメーション)業務の質向上	効果的なインフォメーション業務実施。研修(接遇・博物館概要)の充実。	指	効果的なインフォメーションに向けて、マルチスタッフの継続的活用。語学力向上に向けた研修実施等。	科学館とのマルチスタッフ1名受入。語学力向上に向けた研修実施。	計画に対する達成度	外国人に対する接遇訓練。	
外部評価 評定意見	目標・計画については全体的に概ね達成している。園路の整備については、総合防災事業に関連する掘削工事が終了したことから、危険箇所の把握と対策を含め、今後重点的に取り組むよう努めること。園内バリアフリー化の推進を継続するとともに、来園者向けの利便施設設備の改修・更新も着実に実施すること。グッズの開発等ミュージアムショップの改善・魅力向上に努めている点は評価できるので、販売体制の在り方について検討することが望ましい。						B \ B

■各種統計 ※事業評価シート項目順

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
1	企画展示室(山下家2F)入室者数 ※センサー数÷2	20,516人(今年度は企画展1回のみ)	30,551人	27,835人
2	企画展示解説回数(人数)	7回(45人)	13回(160人)	12回(88人)
3	受講者アンケートによる満足度	92%	①-%②90%	①-%②87%
4	解説・ガイド回数(参加者数)	409回(5,276人)	351回(4,472人)	391回(5,095人)
	内訳1)民家解説	24回(715人)	20回(416人)	18回(199人)
	内訳2)園内ガイド	268回(1,769人)	225回(2,019人)	245回(2,100人)
	内訳3)団体ガイド ※英語ガイド含む	117回(2,792人)	106回(2,037人)	128回(2,796人)
5	催し物参加者数 ※資料7の夜間公開、船越の舞台公開、体験、こどもまつり、歌舞伎公演、サマーミュージアム、正月、旧所在地交流事業、芸能、その他事業の参加者数の合計。	12,763人 ※交流事業は人数のカウント取り止め	15,137人	15,626人
6	無料入園日入園者数 ※民家園まつり・多摩区民祭。	10,109人	8,272人	11,440人
7	伝統工芸館体験人数(ハンカチ染め他)	2,937人	3,165人	2,626人
8	見学学校数 ※幼～高校、学校体験除く	127校	119校	127校
9	学校体験実施校数	69校(市立63、私立0、市外6)	70校(市立68、市内私立0、市外2)	70校(市立65、市内私立0、市外5)
10	床上公開棟数	1,130棟	1,123棟	1,098棟
11	床上公開利用者人数 ※団体除く	126,543人	147,436人	147,325人
12	床上公開利用団体数	721団体	1,013団体	751団体
13	炉端活動延人数 ※炉端の会	4,520人	4,506人	4,353人
14	来園者アンケート満足度	95.8%	93.0%	93.0%
15	歳出に対する歳入の割合 ※( )内は特殊経費・国庫補助金を含む場合(註6)	14.1%(6.7%)	15.9%(12.9%)	16.1%(15.3%)
<b>16</b>	<b>総入園者数(有料入園者数)</b>	<b>116,053人(50,830人)</b>	<b>118,887人(56,422人)</b>	<b>124,527人(54,459人)</b>
17	年間パスポート売上枚数	1,166枚	1,192枚	1,482枚
18	年間パスポート売上枚数内訳 1000円券/600円券	996枚/ 170枚	982枚/ 210枚	1,204枚/ 278枚
19	年間パスポート入園者数 /平均利用回数/割合	4,024人/ 3.45回/ 3.5%	4,387人/3.68回/ 3.7%	4,908人/ 3.31回/ 3.0%
	内訳)年間パスポート入園者 1000円券/600円券	3,533人/ 491人	3,730人/ 657人	4,078人/ 830人
20	園HPアクセス数	727,262件	818,303件	696,601件
21	外国人入園者数	5,918人	5,378人	5,169人
22	園英語HPへのアクセス数	51,586件	45,991件	29,124件
23	市政だより掲載依頼件数(内掲載件数)	74件(31件)	122件(38件)	103件(23件)



事業評価シート 資料1

日本民家園古民家保存修理工事事業計画

[耐震診断の実施及び結果や、破損状況により施工年度予定は、変更の可能性がある]

H29.9

No	耐震順	指定区分	建造物名称	葺材	修理履歴	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
1		重要文化財	旧伊藤家住宅	茅	S40移、S50屋(部分)、S54部、S62屋(部分・棟)、H3屋(部)、H7屋(部)、H13屋・部、H22屋(部)						葺替
2	10	重要文化財	旧佐々木家住宅	茅	S42移、S48屋(部・庇)S55屋(部・棟)・部、S59部、S63屋(部・棟)、H2屋(庇)、H3屋(庇)H6部(不陸補正)、H9屋(部・棟)、H21屋・部						
3		重要文化財	旧江向家住宅	茅	S42移、S48屋(棟)、S51屋(棟・窓屋根)、S54災、S55屋(部)、S56屋(部・窓)、S58屋・部、H5屋(部・棟)、S8屋(窓)、H10屋・部、H21屋(部)				(国・美)葺部		
4		重要文化財	旧北村家住宅	茅	S42移、S54災(棟)、S60屋・部、H6屋(部)・部、H11屋(部)、H12屋(部)、H22屋(部)						
5	8	重要文化財	旧作田家住宅	茅	S43移、S52屋(棟)、S54災、S59屋・部、H6屋(部)・部、H12屋(部)				(国・美)葺部		
6	4	重要文化財	旧太田家住宅	茅	S44移、S52(部、棟)、S57屋・部、H3～H4焼損復旧、H8屋(部)、H12屋(部)、H17屋(部)		耐設	耐設		(国)耐+葺替	(国)耐+葺替
7		重要文化財	旧工藤家住宅	茅	S45～S46移、S56屋・部、H3屋(部)、H6屋(谷)、H8屋(谷)、H11屋(部)・H21屋(部)、H23屋「便所」S45新築、S59屋、H5屋(部)、H26屋						
8	4	県指定重要文化財	旧三澤家住宅	板	S46移、S51、S55、H4屋、H17屋	耐+葺替	耐+葺替				
9	7	県指定重要文化財	旧山田家住宅	茅	S60、移、H5屋(部)、H17屋「便所」S60新築、H8屋						
10		県指定重要文化財	旧野原家住宅	茅	S41移、S56屋、H7屋、H17屋(部)、H24屋(部)						
11	11	県指定重要文化財	旧鈴木家住宅	茅	S45移、S59屋、H4屋(部)、H21屋						
12		県指定重要文化財	旧広瀬家住宅	茅	S43移、S54、S59、H5屋、H19屋(部)			(県)葺替			
13		県指定重要文化財	旧岩澤家住宅	茅	H1移、H7屋(部)H18屋(部)		(県)葺替				
14	5	県指定重要文化財	旧菅原家住宅	茅	S58移、H6屋(部)、H14屋(部)、H24屋				耐診	耐設	耐設
15		県指定重要文化財	旧清宮家住宅	茅	S40移、S48、51屋(部)、S58屋、H5屋(部)、H18屋(部)				(県)葺替		
16		市指定	蚕影山祠堂	茅	S44移、S51S60屋、H6屋(部)、H26屋						
17		市指定	水車小屋	茅	S56移、H6屋(部)、H22屋(部)H27屋						
18		市指定	木小屋	杉皮	H5移、H23屋						
19	6	県指定重要文化財	井岡家住宅	瓦	S61移						耐診
20	4	県指定重要文化財	山下家住宅	茅	S45移、H8屋、H23屋(部)			耐+差葺	耐+差葺		
21		市指定	沖永良部の高倉	茅	S44移、H15屋、H22屋(部)				差茅		
22		市指定	船頭小屋	杉皮	S49移築、S60屋、H12屋、H24屋						
23		市指定	佐地家共待	瓦	S62移、H8部						
24	9	国重有民	船越の舞台	瓦	S47移、S58屋(部)、H8屋、H10屋(部)、H24屋(部)						
25		市指定	原家	瓦	H2移、H3部、H15部						
					主に屋根に係わる修理履歴のみ記載。小規模自費修理は除く。 屋(部)：屋根部分修理、屋(部)・部：屋根部分修理とその他の部分修理	耐：耐震補強工事、診：耐震診断、設：耐震設計、葺：葺替、葺部：部分葺替、(県)：県交付金申請予定、(国)：国庫補助金申請予定、美：美装化事業					

## 日本民家園民俗部門基本計画

## 1. 現状

(1)展示	企画展会場として、平成28年度(2016)に本館第二展示室をリニューアルした。古民家内には民具を展示して暮らしの様子を伝えるとともに、展示充実のため、スマートフォンを利用した4カ国語対応(日英中韓)の音声ガイドを平成29年度(2017)より導入する。
(2)普及	民家や昔の暮らしについて学ぶワークショップ、わら細工・竹細工・機織りの体験講座、夜間公開、古民家の旧所在地との交流事業、そして古民家を会場とした民俗芸能や昔話の語りの公演などを行っている。
(3)収集	収蔵スペースがないため、現在積極的な収集活動は行っていない。
(4)保存	平成15年度(2003)より各古民家ごとの資料目録を刊行、全25棟分を完了した。収蔵庫が狭いため資料の大多数は古民家の屋根裏等に保管されており、保存環境は良好とは言えないが、防塵クロスで覆うなどの対応を取っている。収蔵庫については棚の増設と転倒防止工事を行った。新たに収蔵する資料については二酸化炭素による殺虫処理を行っている。
(5)研究	各古民家の旧所蔵者に聞き取りを行い調査報告を刊行、全25棟分を完了した。平成28年度(2016)には民家の暮らしをテーマに聞き取りを行い、調査報告「シリーズ暮らしと家」の刊行を開始した。また企画展に合わせ、資料調査と研究を行っている。

## 2. 基本方針

(1)展示	展示の主体は古民家であり、民具の展示はそこでの暮らしを伝えるためのものと位置づける。このため古民家内では、その民家の資料を、その資料が本来あるべき場所に展示することを基本とする。企画展示室では民家の暮らしや建築をテーマとした企画展を開催する。
(2)普及	民家の暮らしに触れ、理解を深める機会として教育普及活動を行う。体験を重視するとともに、文化財の価値を次世代に伝えるため子供向けの事業に力を入れる。
(3)収集	民家の建築に関わる資料と、古民家の旧所蔵者の資料を収集対象とする。
(4)保存	野外博物館の特性に基づき、民家で行われていたメンテナンス方法を取り入れながら、資料の保存環境の向上に努める。
(5)研究	民家の暮らしをテーマに調査を行い、成果を刊行する。また企画展示に合わせ、資料調査と研究を行う。

## 3. 今後の計画

(1)展示	聞き取りに基づき、古民家内の展示を整備する。企画展は年に2本開催する。
(2)普及	旧所在地交流事業に力を入れる。また、体験型、当日参加型の子供向けワークショップを増やす。
(3)収集	収蔵スペース上積極的な収集活動は行わない。ただし、古民家の旧所蔵者の資料、また建築関係の資料のうち作業工程を理解する上でまとまりあるものについては収集していく。
(4)保存	耐震性能向上のため、資料の屋根裏収納を解消させていく。
(5)研究	聞き取り調査を継続的に行い、調査報告「シリーズ暮らしと家」を年1冊刊行する。また企画展に合わせて調査研究を行い、解説図録を刊行する。

## 日本民家園民俗部門展示出版計画

年度	企画展タイトル	刊行物
28年度	前期 「ふしぎ古民具大集合！」	解説図録
	後期 展示室整備	『シリーズ暮らしと家1 中原街道の醤油屋』
29年度	前期 「日本民家園“今昔”ものがたり」	解説パンフレット(民家園だよりvol.87)
	後期 「結び展」(仮)	解説図録 『シリーズ暮らしと家2 民家と年中行事』

事業評価シート 資料4

民家園叢書出版計画

日本民家園叢書12	『日本民家園草創期の記憶6 ー旧山田家住宅・園内管理ー』 野呂瀬正男	平成28年3月
日本民家園叢書13	『合掌造りはいつ建てられたか 炭素14法による民家年代調査』 中尾七重・坂本稔	平成29年3月
日本民家園叢書14	『旧鈴木家住宅耐震補強工事報告』(仮)	未定
日本民家園叢書15	『旧三澤家住宅耐震補強工事報告』(仮)	未定

H29.3

事業評価シート 資料5

大岡文庫関係出版計画

大岡展関連出版物	『建築史家・大岡實の建築』(増刷)	平成28年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅲ』	未定

H29.3

事業評価シート 資料6

日本民家園総合防災整備事業計画

1 目的:文化財建造物を火災の被災から予防又は最小限に防護するため。また大地震時に来園者の安全をはかるため。  
 2 理由:  
 (1)開園45年を超え、消防施設の著しい老朽化と建造物の位置する高低差等から二件以上の建造物への消火能力に欠けること。  
 (2)開園以来、水道配管の取り替え等を行っていないことに伴う老朽化、移築毎の配管の接続等から漏水事故が続いてきていること。  
 (3)職員の削減、管理面積の規模等から、旧式の防災設備では消火や入園者の避難誘導等への的確な対応が難しいこと。  
 (4)古民家の耐震性能を検討し必要な場合は耐震補強工事を施す。耐震診断を終えた民家のうち、鈴木家はすでに工事完成、三澤家は29年度完成予定である。この他、太田家・山下家についても順次工事を行う計画である。また、その他の古民家も予備診断の結果必要なものは基礎診断を実施する予定である。  
 (5)工事については国または県より補助金が受けられる場合がある。

年 度	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	以後	
防 災	水道設備	消火配管	消火配管		ポンプ設置							
	自火報等		監視装置	監視装置 ・自火報	消火設備 完成	旧消火設備 撤去設 計	旧消火設備 撤去					
	園路・ 崖改修		鈴木崖補 強工事									
古民家耐震	①基礎診断	①鈴木家 ・三澤家	①太田家 ・山下家					①菅原家		①井岡家	順次実施	
	②設計		②三澤家 基本・鈴 木家実施	②三澤家 耐震委員 会	②三澤家 実施・山 下家基本	②山下家 実施		②太田家 基本	②太田家 実施	②菅原家 基本		②菅原家 実施
	③工事			③鈴木家				③三澤家	③三澤家	③山下家		③山下家

H29.6

事業評価シート 資料7 日本民家園 平成28年度事業実績  
展示

★ 今年度初めてのもの

	事業名	日程	会場	内容等	参加者・回数
企画 展示	「家で生まれる、家と育つ」	1/5-5/31	山下家2階	子供の成長をテーマとした展示	-
	「古民家なんだろう」			触覚、聴覚、嗅覚で楽しむ子供向けの体験型展示	-
	★「ふしぎ古民具大集合」	7/1-11/30		民具を形から取り上げる謎解き型の展示	-
常設 展示	文化財建造物展示	通年	園内	移築・復原した古民家等25件、★音声ガイドコンテンツ・アプリ制作	-
	本館展示		本館展示室	民家及び民家の生活に関する展示	-
	石造物展示		園内	園路沿い 道祖神・庚申塔・馬頭観音等	-
	民俗資料展示		各古民家	生活用具・農具等	-
展 示 事	年中行事展示	毎月	北村・清宮・原・蚕影山・作田	節句雛・田植え祝い・盆棚・小正月等古民家の年中行事を展示	-
	雪囲い	11/27-3/12	山田家	雪と寒さを防ぐ雪囲いを再現	-
工 芸 館	藍T vol.8	5/18-6/19	伝統工芸館	型染め、絞り染めによる藍染めTシャツの展示	-
	藍のはなし2	6/29-7/31		藍染めの歴史、世界の藍染め、藍の染料ができるまで等の展示	-
	講座作品展	初級8/3-9/4、中級10/26-11/20		講座受講者と工芸館スタッフによる藍染め作品の展示	-
	絞り	9/14-10/16		さまざまな絞りの紹介と作品展示	-
	干支	11/30-1/22		講座受講者と工芸館スタッフによる藍染め作品の展示	-
	ひな祭り	2/1-3/5		節句をテーマにした藍染め作品の展示	-
	端午の節句	3/15-5/7		節句をテーマにした藍染め作品の展示	-
公 開	床上公開	毎日(8・12月除く)	3-5棟	囲炉裏に火を入れ、床上部分を公開 炉端の会、民具製作技術保存会	126,543人
	夜の民家園	4/2・3、11/26・27	宿場・信越	ライトアップ、昔話、夜なべ仕事 炉端の会・民具製作技術保存会・おはなし万華鏡	3,884人
	旧船越の舞台特別公開	5/21-6/5、9/22-10/10の土日祝	船越の舞台	国指定重要有形民俗文化財の内部公開 炉端の会	647人
民 技 会	民具製作実演	不定期日曜、臨時活動日	園内	わら・竹細工、機織り 民具製作技術保存会	180日
	作品展示・頒布会	4/29、5/1-5、10/2-11/13	太田、原家ほか	頒布会は10/2-11/13の日祝のみ 民具製作技術保存会	頒布14回

教育普及活動

体 験 ・ ワ ー ク シ ョ ッ プ	昔の道具体験	4/23、5/8	佐々木家、岩澤家他	昔の運び、茶もみ体験 関悦子他(園職員)	106人	
	草バツタを作ろう	4/30、5/4	佐々木家	シュロの葉を利用した草玩具づくり、園内の草花を用いた遊び 炉端の会	53人	
	こども民家園検定	5/3-5	神奈川の村	子供向けなぞとき体験 炉端の会	169人	
	むかし遊び	5/1、3-5	作田家他	輪投げ・竹馬・竹ボックリ・折り紙・お手玉等 民具製作技術保存会	330人	
	民具着用体験	5/1・3	作田家	笠や蓑の体験 民具製作技術保存会	297人	
	★民家園の七夕	7/2	佐々木家	飾り作りと飾り付け体験、ライトアップ 関悦子・畑山拓登・草場結貴(園職員)	110人	
	お蚕さまの絹糸	7/3	野原家	座繰り実演、ずりだし体験 民具製作技術保存会	54人	
	★糸と糸車のひみつ	7/30	原家	糸車の体験 関悦子・畑山拓登・草場結貴(園職員)、民具製作技術保存会	10人	
	★こども建築入門	8/6	作田家・園内	外山明彦・原末織(園職員)	14人	
	★お月見デー	9/15	宿場・信越の村、科学館	観月会、むかしの明かり体験他、科学館ではプラネタリウム	75人	
	★立版古ワークショップ	10/15	工藤家	江戸時代の紙工作、起絵「立版古」をつくる 紙風景	13人	
	おしえて大工さん	10/23	作田家	昔の大工仕事実演と大工仕事の体験 神奈川土建川崎多摩支部	121人	
	小正月モンヅクリ	1/8	北村家	ケズリカケ等の飾り製作実演とまゆ玉団子飾り体験 民具製作技術保存会	99人	
	★手芸カフェ	1/22	原家	羊毛フェルトで小物作り 山崎佳代	6人	
	体 験 講 座	わら細工	5/15、9/25、11/20、12/18	原家、作田家	ぞうり、わらじ、釜しき、しめ縄(たまかざり) 民具製作技術保存会	71人
竹細工		4/17、6/5、10/16	丸型六つ目かご、菱四つ目かご、小判型六つ目かご 民具製作技術保存会		65人	
はた織り		5/29・6/5・12、11/6	裂き織り、綿の実から糸まで(糸紡ぎ) 民具製作技術保存会		36人	
親子体験		7/24、31、8/7	あしなか、サッカーボール、簡易機 民具製作技術保存会		17組	
★絹物の洗い方・半襟講座		7/17	原家		絹物の洗い方と半襟の付け方 吉田清美(炉端の会)	13人
芸者に学ぶ粋な遊び方		2/18	原家		品川大井海岸まつ乃屋 やよい	21人

工芸館	しぼり染め	6/11・12、10/22・23	伝統工芸館	初級、中級(各2回連続)	22人
	型染め	7/23・24、9/3・4、11/19・20		初級、中級、干支(各2回連続)	87人
	ワークショップ	4/15・23・24、5/31、8/20、10/27		ストール、こいのぼり、Tシャツ、藍の生葉染め、風呂敷	66人
学習講座	合掌造りはいつ建てられたのか	12/4・11	原家	中尾七重(武蔵大学)	24人
	ボランティア講座	1/14、21、28、2/4	原家他	新規会員向け 柳隆泰・畑山拓登・関悦子・原未織(園職員)	21人
	炉端の会学習会	毎月1回	ビジターセンター他	会員向け 園職員	-
全園行事	納涼民家園	8/21	緑地全体	浴衣・甚平で無料 打ち水・井戸汲み・水鉄砲・からくり水車・洗濯板・蚊帳・ごろ寝体験、風鈴展示他 炉端の会、民具製作技術保存会	入園518人
	多摩区民祭	10/15	緑地全体	無料開園日 骨董市、旧所在地交流事業	入園5,181人
	民家園まつり	11/3	全園	無料開園日 歌舞伎公演、伝統技術実演(堂宮彫刻、彫金、市松人形、水引細工) 伝統技術技法を保存継承する会他	入園4,928人
	お正月を遊ぶ	1/4	全園	着物で無料 正月遊び、日本各地の注連飾り展示 炉端の会、民具製作技術保存会	入園1,133人
交流事業	南砺市交流事業	5/21、10/15・16	信越の村	こきりこと茶菓体験、芸能公演、物産展 南砺市観光協会他	-
	甲州市交流事業	11/19、3月	佐々木家・江向家・本館他	ころ柿吊し、桃の花配布 甲州市・甲州市観光協会	-
	★福島市交流事業	11/26・27	鈴木家・佐々木家	金沢黒沼神社の十二神楽、土湯こけし作り実演	-
芸能	人形浄瑠璃	9/18	工藤家	「御所桜堀川夜討 弁慶上使の段」相模人形芝居下中座	136人
	農村歌舞伎	11/3	船越の舞台	「義経千本桜 伏見稲荷鳥居前の場」秋川歌舞伎あきる野座	261人
	獅子舞	1/4	佐々木家	白幡八幡大神平囃子連中	-
その他催事	むかし話	奇数月2回、偶数月3回	作家他	おはなし万華鏡、みちのくむかし語り、大平悦子氏、日本民話の会 ★外国人向けに昔話の英訳シート配布	978人
	ベーゴマ大会	4/29、9月4日、1月8日	広瀬家	入賞者にはオリジナルベーゴマプレゼント	107人
	民家園防火デー	7/10	太田家・原家	太田家焼損小屋公開と焼損復旧工事映像上映	見学33人
	お茶会	5/3・5、10/30	佐々木家	川崎市茶華道協会、内田社中と川崎北高校茶道部、静楽会	418人
	古民家カフェ「陣屋荘」	4・5月、9-11月(土日祝)	原家	古民家の座敷を利用したカフェ	3,210人
ガイド	古民家めぐり(建築・暮らし)	月2回	園内	1時間で1つの村を案内 外山明彦・渋谷卓男(園職員)	715人
	企画展示解説	会期中月1回、子供向け1回	企画展示室	企画展示の解説会 関悦子(園職員)	45人
	園内ガイド	通年	園内	土・日・祝は午前と午後、平日は午後 炉端の会	1,769人
学校連携	団体ガイド	年間	園内	団体の希望に応じ園内をガイド(日本語・英語) 炉端の会	2,792人
	学校体験学習	年間	園内	大八車・井戸汲み・石臼・天秤棒の体験 園職員	69校
	学校見学(体験学習なし)	年間	園内		127校
	博物館実習	5月-11月	園内	3回、各10日間	14校20人
	★留学生モニター	7/1、11/26	園内	専修大学との交流事業 留学生を招いてアンケート実施	43人
	★郷土資料室展示支援		園外	住吉小学校の郷土資料室展示替えに伴う資料鑑定・展示方法等の支援	-

#### 調査研究・広報・施設管理

調査研究	調査	★「暮らしと家」民俗調査(川崎市中原区小杉陣屋町 原家分家)、50周年記念展資料調査
	収蔵資料整理	山下家3階資料、大岡資料(建築)
広報	刊行物	★『シリーズ暮らしと家1 中原街道の醤油屋』、『叢書13 合掌造りはいつ建てられたか 炭素14法による民家年代調査』 ★『展示図録 ふしぎ古民具大集合』、★50周年記念写真集『家 home』、★50周年記念全棟ポストカード
	印刷物	★50周年記念ポスター・記念フラッグ、★タイ語リーフレット、★多摩区3大学向け優待券、民家園だより、催し物カレンダー、招待券、各種チラシ
維持	古民家等保存修理工事	★三澤家免震・屋根葺替え工事、雨漏り応急処置、壁・建具・敷居・土間三和土などの補修、北村家竹簀子張り替え
	園内整備	★本館展示室改装工事、★旧消火設備配管撤去工事、植栽整備、危険木伐採、案内板補修等

評価者(川崎市社会教育委員会議日本民家園専門部会委員)

選出区分	氏名	現職	備考
学識経験者	石野 律子	(民俗学)	
		神奈川県立日本常民文化研究所客員研究員	
	近藤 光雄	(建造物保存修理)	
		文化財建造物保存技術協会常務理事	
	大野 敏	(建築史)	副会長
		横浜国立大学教授	
菅野 和郎	(博物館学)	会長	
	玉川大学准教授		
学校教育	栗林 昌人	川崎市立小学校社会科教育研究会会長	
		川崎市立登戸小学校長	
	藤澤 朋二郎	川崎市立臨港中学校長	
教家庭	牧田 伸子	NPO法人ままとんきっず理事	
教社会	水野 鉄夫	炉端の会会長	
公市募民	吉無田 健	公募委員	
	井口 かおる	公募委員	